

国語科学習指導案

平成30年8月29日(水) 第5校時 2年D組
 授業学級 2年D組(40名)
 授業者 指導教諭

1 単元名 扇の的—「平家物語」から

2 主眼

東京03の「鬼才」を視聴し、このコントが面白い理由を考える場面で、飯塚のねらいに着目しながら嘘と事実を比較することを通して、メッセージを強調するための嘘の存在に気づき、嘘に着目して扇の的を読もうという意欲を高めることが出来る。

3 本時の位置(全5時間中 第1時)

次時：扇の的の内容を確認し、嘘を探す。

4 本時の評価規準

- ・メッセージを強調するための嘘の存在に気づき、嘘に着目して扇の的を読もうという意欲が高まっている。

5 展開

段階	学習活動	予想される生徒の反応(太字はキーワード)	◆学習内容 ◇教師の指導・援助	時間	備考
導入	1 視聴覚資料を視聴し、学習問題を把握する。	ア 怒られないようにするために、宿題をやっていた日、宿題をすることが出来なかった理由をでっち上げた。	◇嘘をついた経験について尋ね、それらの嘘をついた目的を考えるよう促す。	15分	フラッシュカード ICTモニター
		イ どんなコントかぴんと来ないけど、たしかテレビで見たことがある気がする。	◇東京03を紹介し、コントに出てくる語句の意味を確認する。		
展開	2 個人で追求する。	ウ 大人の話でちょっと分かりづらかったけど、ようは話を大げさに語る人の話だった。	◆東京03のコント「鬼才」を視聴する。	5分	
		エ 面白かったという人もいますがあまり面白く感じなかった。	◇感想を自由に周りと共有するように促す。		
展開	3 全体で追求する。	オ なぜ面白いという人がいるのだろうか。	◇学習問題を提示する。	20分	ワークシート
		カ 飯塚のついた嘘がどんどん暴かれていくから。	◇カのような発言から学習課題を提示する。		
終末	4 本時を振り返る。	キ 嘘がどのような現実と対応しているのかを確認することが出来た。	◇ワークシートを配布し、「鬼才」の流れを確認するよう促す。	5分	
		ク コンパの人数が増えているのは、豊本が「想像したとき面白いように」って言っていたから、面白くなるようにだと思ふ。	◇飯塚がついた嘘の1つ1つに注目し、それぞれの嘘が飯塚のどのようなねらいで疲れたものか考えるよう促す。		
終末	4 本時を振り返る。	ケ 新幹線の嘘は、二回のミスを毎回と言っている。角田が「悪く仕立て上げる」って言っていたから、角田を悪く聞こえるようにだと思ふ。	◇先にあげた飯塚のねらいに着目しながら嘘と現実ではどこにどのような違いがあるのか考えるよう促す。	5分	
		コ 最悪のゴミ人間と言っていることからわかるように角田がただダメなのではなくすごくダメな後輩という印象を与えている。	◇コのような「強調した」という旨の発言から、嘘は伝えたいことを強調する効果を持っているのではないかという仮説を立てる。		
終末	4 本時を振り返る。	カ 飯塚のついた嘘がどんどん暴かれていくから。	◇カのような発言から学習課題を提示する。	5分	
		セ 歴史の教科書に出てくるような物語にもこのような嘘があるのだろうか。	◇教師による扇の的の範読を嘘に着目して聞くよう促す。		
終末	4 本時を振り返る。	ソ 実際の歴史を基に書かれた扇の的にも物語を面白くするための嘘があるのだろうか。扇の的を読んで確かめたい。	◆振り返りをワークシートに記入し、発表して共有するよう促す。	5分	
		サ 強調するという観点ですべての嘘を見直すと、確かに角田が最低であるというメッセージが強調されているように思う。			
		本時の評価規準に達していない生徒への手だて ・セリフを台本化したものを配布し、豊本のセリフに着目して考えるよう促す。			

6 反省